



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN



- 国際会長主題 「命の川を信じよう」
アジア会長主題 「変化をもたらそう」
西日本区理事主題 「Let's do it now！」
中部部長主題 「知らせよう！ ワイズの奉仕活動を」
クラブ会長主題 「歴史を紐解き、前を見よう」

2021年1月

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

会 長 荒川 文門 副 会 長 杉山 弘時 書 記 近藤 豊
会 計 小林 滋記 直前会長 都築 正和 連絡主事 橋本 啓

今月の聖句



わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。
神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、
神もその人の内にとどまってくださいます。

ヨハネの手紙一/ 04章 16節

1月例会案内

第一例会

日 時：1月14日（木） 19:00～20:00
場 所：南山YMCA

1. 新年年頭所感 発表
2. 南山クラブの今後
3. その他

コロナ、コロナで明け暮れた2020年が終わりに新しい年を迎えましたが、この難題はまだ抱えたままになりそうです。幸いにも今のところわがクラブでは感染者は出ておりませんし、あおりを受けて破産、ということもありません。でもこの状況ではいつ感染するかもしれない状況になってきています。細心の注意を払い家にいてもかかるかもしれないところまで来ているようです。第一例会も本来なら新年会で大いに盛り上がる会なのですが、食事もなく顔合わせをし、ちょっとあいさつ程度しかできません。早くこのコロナから脱出したいものです。

第二例会

日 時：1月21日（木） 19:00～20:00
場 所：南山YMCA

1. 2月例会・プログラム作成

2021年の年の初めに

コロナ、コロナで終わった2021年、新しき年と言われてもなかなかぴんと来ない明るさのない新年です。社会情勢もさることながら私自身がなかなかポジティブになれず、前を向こうとしても前が見えず、何か何事にも自然にネガティブになっていきそうです。ワイズ活動も一つの例かも知れません。



こんなことでは、と思ひ返し昨年秋には畑の合間を縫って山登りに熱中してみました。よく行ったときには週3回、一日おきに山登りをしました。天気が比較的いい日が多く、朝起きて朝食を済ませると急に出かけたことも何日もありました。奥三河、尾張、東濃、鈴鹿とあちこちでかけました。特に南信州の信玄の烽火台登山など楽しい思い出です。登っていて頂上に着くと何とか気が晴れるのですが、下りて帰りの電車、バスの中ではこんなことしていてコロナに感染していたらと思うと罪の意識すら感じていました。そんな風にいつもネガティブな考えになってしまいがちな2020年でした。

さて今年はどうなるのだろうか、と他人まか

12月報告	在籍7名	第1例会出席	第2例会出席	メイクアップ	出席率
		7名	6名	0名	100%

せの思考しかありませんが私自身として一つだけ夢
というか希望というか考えられるとすれば、もう一回
だけ北アルプスのどこかの山、または白馬岳に夏に登
りたいことです。今から7月まで毎日10～15キロ位
歩いておけば何とか行けるのではないかと、ということ
が一つの目標です。そんなささやかな希望をもっても
う少しポジティブに生きたいものです。

「下」

初めに書こうと思った文字とは
違います。何故なら内容が昨年と
ほとんど変わりなく、この件に関
しては抱負として取り上げるのはやめました。そこで
今年を下げるの「下」としました。健康診断を12月初
めにしました、そこで血圧が少々高いですねと言われ
たので何とか下げようと思っっています色々な方法があ
るようですが大変なのは無理なので、お茶を飲むとか
チョコレートを食べるとか模索中です。誰か薬のお世
話になる前に良い方法を教授してください。まだ血液
検査とかの結果報告が来てないのでどうなることやら。
後、力はないですが南山クラブでは縁の下で頑張っ
ていきます。



「忙」

今年は何事にも肩の力を抜き自
由に何事にも再度挑戦してみたい
です。



農業はマルチ張機を購入しました。今までと違って
楽に、早く畝立てとマルチ張が出来ます。新しい野菜に
も栽培の可能性が高くなります。スイートコーン、自然薯、
金ゴマ、サツマイモ、里芋、スイカ、ローゼル、
白菜、ブロッコリー、人参、桃かぶ、プチヴェール、
カリフラワー色々作付けが出来そうです。

学校は今年度も依頼を受けました。
趣味のスキー、釣り、ゴルフは適当にたのしみたいで
す。忙しく余分なことを考えず楽しむ事にします。

「縁」

縁とは「めぐり合わせ」
2020年9月のブリテンに「夏の
思い出」と称して寄稿しました
が、いざ役を引き受けいざ役を引き受けて感じた事は



それ迄無関心だった町内に本当にいろいろな問題
があり区長と共に解決したり苦情の相談相手にな
ったり大変な事柄が多くあり閉口したこともたび
たびでした。

神社に関しては氏子としての所作が非常に難しく
戸惑うことばかりでこの先無事に務まる事ができる
のか不安の中役目を務めています。

YMCAのブランドスローガンは「みつかる。つながる。
よくなっていく。」ですYMCA(ワイズメンズクラブ)・
神社・町内会活動自分にとってはそれぞれ「縁」があ
って参加していますYMCAスローガンは自分そのもの
で本年は「縁」を大切に過ごしていこうと思っしてい
ます。

「地」

あけましておめでとうござい
ます。昨年は初めての名古屋、仕
事、単身ライフ、感染症などなど、
自覚せずとも緊張感を持って歩んできた日々だった
のかと思います。そして、自分に甘く不摂生のせい
か、ハーブの虫よけにかぶれ、自転車で転倒など、そ
う若くはない年齢を感じる年でもありました。そんな
中、南山農園での土や自然に触れながらの豊かな交
わりは、大変心豊かな時でした。



今年はまだ少し地に足を付けて歩みを進めたいと
思います、よろしくお祈りします。

「容」

1月のブリテンに各自の「新年
の抱負」を掲載することが恒例と
なっています。過去何年かの私自
身の投稿を振り返ってみると「順」「想」「整」「従」「柔」
といった漢字が題材とされています。その年毎に新た
な想いがあつたのでしようが、年を重ねるに従って、
体力の衰えを嘆き、思考力、柔軟性の低下に逆らおう
としてきた事がよく窺えます。



2020年3月には仕事からリタイヤし、新しい生活
のリズムに多少戸惑った年でもありました。2021年は
ここ数年以上に自然体で過ごそうと思っっています。置か
れている環境、日々の出来事、人との交わりを素直に受
容れ、無理なく自然体で過ごせたらと思っっています。出来
るかな？今年もお付き合い下さい。

12月第一例会報告

日 時：12月10日（祝） 19:00～21:00

場 所：南山YMCA

出 席：荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾、橋本

12月10日（木）19:00より南山YMCAにて第一例会が開かれました。本来は名古屋クラブと合同で行う予定でしたがコロナのため中止になり、南山クラブも食事を共に少しはクリスマスらしいことしようという予定でしたが、結局食事は無しで、ささやかなお菓子だけのクリスマスになりました。

橋本主事よりクリスマスの祈りをささげて頂きクリスマスメッセージもいただきました。YMCAに連なるものが本来この時期本当の意味のクリスマスを考え、キリストのことを思う時期なのですが色々なプログラムも中止になり本当に寂しい限りのクリスマスでした。来年はきっと明るいクリスマスを迎えられるよう祈りましょう



12月第二例会報告

日 時：12月17日（木） 19:00～20:00

場 所：南山YMCA

出 席：荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾

12月17日（木）南山YMCAにて第二例会が開催されました。50周年を迎え南山クラブをどうするかが上半期の最大の課題でしたが、次期も一応「形だけは存続させる」ということで結論が出たようです。ただどんな形にするかについては検討の余地が大いにあり、今までと同じで継続ということではありません。他クラブとの関係、西日本区との関係など今後色々検討しなければなりません。又、秋のプログラム総括が報告され、2020年上半期を終えました。

農場報告

1. 農場では玉ねぎの白が5,000個余、赤が400個ほど植え付けられました。しばらく大きな農場プログラムがありませんが、2月早々にはジャガイモの植え付けがあります。少し多めに植え付け、玉ねぎとジャガイモの収穫を目的に「春の収穫祭」を実施したいものです。
2. 春の本格的な作業の前に以下の作業が予定されています。
 - ・ビニールハウス屋根の張替え
 - ・物置、ビニールハウス内の片づけ

諸報告

1. 当初予定されていた名古屋クラブとの合同クリスマス会は中止となりましたが、12月12日（土）名古屋クラブのクリスマス礼拝が中央教会で行われ、荒川、杉山、都築が出席しました。
2. 同様に中止となった恒例のクリスマスキャロルに代わり12月19日（土）港区のポートピアホールにてYMCAクリスマスコンサートが開かれ、杉山、都築が参加しました。
3. 2月例会は第二木曜が祝日のため、第二例会と合わせて開催する可能性があります。

例会出席表

		10	10	11	11	12	12
		／	／	／	／	／	／
		10	15	3	19	10	17
		第	第	第	第	第	第
		一	二	一	二	一	二
		例	例	例	例	例	例
		会	会	会	会	会	会
1	荒川	○	○	○	○	○	○
2	小林	○	○	○	○	○	○
3	近藤	○		○	○	○	○
4	杉山	○		○	○	○	○
5	都築	○	○	○	○	○	○
6	深尾	○	○	○	○	○	○
7	橋本		○	○	○	○	